

## 県指定・法華寺本堂



<http://digitalarchiveproject.jp/information/> 県指定・法華寺本堂



〈県指定〉昭和 45 年 8 月 11 日

〈所有者〉法華寺

〈所在地〉天性寺町 62 番地

〈時代〉江戸時代(17 世紀)

〈員数〉1 棟

本堂(1 棟)桁行 20.2m、梁間 15.5m、単層入母屋造、銅平板葺

寛永 9 年(1632)、九州の地から配流され、翌年この地で寂しく亡くなった加藤肥後守清正の嫡孫光正の霊を哀れんだ金森重頼(第 3 代)が、高山城内の建物を移してこの本堂にしたという。宝暦年間の平面図が残されている。昭和 45 年～47 年には自火報設備、本堂の半解体修理を行なった。さらに、平成 5 年には須弥壇と内陣の天井、墓股や欄間彫刻の全面修理を行なっている。その際、須弥壇脇の 6 枚の彫刻と、内陣手前の厚鴨居上端に裏書が確認された。彫刻の方には工匠松田太右衛門、塗師は藤田宇兵衛、宝暦 12 年(1762)7 月 16 日、須弥壇を再興したことが記されている。また厚鴨居の方には、宝暦 12 年修復とある。須弥壇上の箱段裏板には「宝暦五年十一月本寿院日量代 大工谷口小兵衛」と裏書がある。

建物内部は、正面からゆつたりとした広縁があり、腰唐戸の障子がやわらかい感じを与える。内陣は改造されて、法華宗の寺院様になっているが、内陣正面に見られる墓股や、欄間の花鳥彩色彫刻から桃山時代の様式をうかがい知ることができる。内陣を除いて柱はすべて角柱面取がしてある。

建物外観は、間口が 8 間もあって重量感にあふれ、寺院様の装飾は何 1 つ見あたらない。木割が一般的に太く、間隔の粗い、軒廻りの太い垂木が木(こ)舞(まい)化粧裏や屋根を軽やかに支えている。両妻飾がなく、木(き)連(づれ)格(こう)子(し)組(ぐみ)となっているので、いっそう書院造りの風格を強調しているようである。

### 参考文献

『高山の文化財』29～30 頁 高山市教育委員会発行 平成 6 年



001\_①法華寺・遠景四方・えび坂辻001



002\_①法華寺・遠景四方・えび坂辻002



003\_①法華寺・遠景四方・えび坂辻003



004\_①法華寺・遠景四方・えび坂辻004



005\_①法華寺・遠景四方・えび坂辻005



006\_①法華寺・遠景四方・えび坂辻006



007\_①法華寺・遠景四方・えび坂辻007



008\_①法華寺・遠景四方・えび坂辻008



009\_①法華寺・遠景四方・えび坂辻009



010\_①法華寺・遠景四方・えび坂辻010



011\_①法華寺・遠景四方・えび坂辻011



012\_①法華寺・遠景四方・えび坂辻012 013\_②法華寺・遠景四方・えび坂から進んだと014\_②法華寺・遠景四方・えび坂から進んだと015\_②法華寺・遠景四方・えび坂から進んだと016\_②法華寺・遠景四方・えび坂から進んだと017\_②法華寺・遠景四方・えび坂から進んだと018\_②法華寺・遠景四方・えび坂から進んだと019\_②法華寺・遠景四方・えび坂から進んだと020\_②法華寺・遠景四方・えび坂から進んだと021\_②法華寺・遠景四方・えび坂から進んだと022\_②法華寺・遠景四方・えび坂から進んだと023\_③法華寺入口・四方001



046\_⑤山門・四方009

047\_⑥山門001

048\_⑥山門002

049\_⑥山門003

050\_⑥山門004



051\_⑥山門005



052\_⑥山門006



053\_⑥山門007



054\_⑦説明版001



055\_⑧本堂・四方・その1001



056\_⑧本堂・四方・その1002



057\_⑧本堂・四方・その1003



058\_⑧本堂・四方・その1004



059\_⑧本堂・四方・その1005



060\_⑧本堂・四方・その1006



061\_⑧本堂・四方・その1007



062\_⑧本堂・四方・その1008



063\_⑧本堂・四方・その1009



064\_⑨本堂・四方・その2001



065\_⑨本堂・四方・その2002



066\_⑨本堂・四方・その2003



067\_⑨本堂・四方・その2004



068\_⑨本堂・四方・その2005



069\_⑨本堂・四方・その2006



070\_⑨本堂・四方・その2007



071\_⑨本堂・四方・その2008



072\_⑨本堂・四方・その2009



073\_⑨本堂・四方・その2010



074\_⑩本堂・四方・その3001



075\_⑩本堂・四方・その3002



076\_⑩本堂・四方・その3003



077\_⑩本堂・四方・その3004



078\_⑩本堂・四方・その3005



079\_⑩本堂・四方・その3006



080\_⑩本堂・四方・その3007



081\_⑩本堂・四方・その3008



082\_⑩本堂・四方・その3009



083\_⑩本堂・四方・その3010



084\_⑩本堂・四方・その3011



085\_⑪本堂建物001



086\_⑪本堂建物002



087\_⑪本堂建物003



088\_⑪本堂建物004



089\_⑪本堂建物005



090\_⑪本堂建物006



091\_⑪本堂建物007



092\_⑪本堂建物008



093\_⑪本堂建物009



094\_⑪本堂建物010



095\_⑪本堂建物011



096\_⑪本堂建物012



097\_⑪本堂建物013



098\_⑪本堂建物014



099\_⑪本堂建物015



100\_⑪本堂建物016



101\_①本堂建物017



102\_①本堂建物018



103\_①本堂建物019



104\_①本堂建物020



105\_①本堂建物021



106\_①本堂建物022



107\_①本堂建物023



108\_①本堂建物024



109\_①本堂建物025



110\_①本堂建物026



111\_⑫本堂前・石碑、鐘楼など001



112\_⑫本堂前・石碑、鐘楼など002



113\_⑫本堂前・石碑、鐘楼など003



114\_⑫本堂前・石碑、鐘楼など004



115\_⑫本堂前・石碑、鐘楼など005



116\_⑫本堂前・石碑、鐘楼など006



117\_⑫本堂前・石碑、鐘楼など007



118\_⑫本堂前・石碑、鐘楼など008



119\_⑬上の段から001



120\_⑬上の段から002



121\_⑬上の段から003